



ばく通信 No. 6



2014. 6月 特定非営利活動法人 発達障害児応援団 NPOばく

NPOばくの第6期総会が5月25日に行われました。

賛助会員の皆様の温かいご援助や励ましのおかげで、ばくの運営も安定してきました。昨年度皆様から頂いた賛助会費はK-ABCⅡ、アイパット等を購入する費用に充てさせていただきました。指導の充実に役立てたいと思います。

今年度は指導日を週4日（火曜日～金曜日）として、“学習支援”と“一般相談”を柱に事業運営を行っていきます。発達障害児の支援者チームとして、皆様方のご期待に添えるよう、スタッフも「実践のまとめ」を作成したり、積極的に学会や研究会に参加したりして、指導力の向上につとめていきたいと思っております。今後も、ばくの活動にご支援を賜りますよう、賛助会員の御継続、御加入をお願いします。

お知らせ：昨年度賛助会員様向けに“ばく”の教室公開と情報交換会を行いましたところ、非常に好評でした。そこで、今年度も学習会及び情報交換会を企画しました。参加希望の方は7月25日（金）までに申し込んで下さい。

日時：7月28日（月）18時～19時

場所：ばく事務所

なお、終了後には懇親会も企画しておりますので、できるだけ公共交通機関のご利用をお願いします。

1. 今年度在籍（H.26年6月現在）

・入室児

| | | | | |
|------|-----|------|----|-------|
| 小学1年 | 3名 | 小学4年 | 4名 | |
| 2年 | 5名 | 5年 | 8名 | |
| 3年 | 10名 | 6年 | 5名 | |
| | | 中学生 | 4名 | 計 39名 |

・スタッフ

| | | |
|----------|------------|------|
| 指導担当 | 13名 | |
| 相談担当 | 6名（指導兼任3名） | 計16名 |
| その他運営協力者 | | |
| 環境整備 | 1名 | |
| 会計 | 1名 | |

2. 活動報告

NPOを立ち上げて6年が経過し、支援を行った子ども達も100名を超えました。時折、“ばく”を巣立った子ども達の様子…正選手ではないけれど頑張っている、読み書きの困難さは引きずっているが努力を続けている等、手紙や風のうわさを通じて伝わってきます。

子ども達の成長や変化の道筋を振り返ると、小学生の時期の学習支援を通じて、指導者の意見を取り入れられるようになったり、困った時には援助要請ができるようになったりして、“自分にあった学びの土台”が作られていくことの重要性を感じます。それが、中学生の時期の、担任や部活の先生、スクールカウンセラー、家庭教師等の援助を受けながら“自分を生かす道を模索していく過程”に繋がり、その子らしい高校生活を送っているという流れがみえてきます。そういう子ども達の後ろには、様々な課題やトラブルに真摯に向き合い、乗り越えていこうとする保護者の力を感じます。“ばく”に通う子ども達に共通するのは、子どもを可愛く思っている保護者の存在です。それが、可愛さがにじみ出てくる子ども達の人柄に繋がっているように感じます。

とはいえ、“ばく”に通っていた頃とは違う思春期、青年期の課題もあり、一般相談の枠組みの中で、進路相談を受けることもあります。小から中への移行の時期に、新しいルールや人間関係で混乱しているケースもあり、移行支援の重要性も実感します。そこで、昨年度から試験的に中学生のグループ指導(SSTと学習)を1グループ行いました。少し、いらついたり、いじけたりしていた子ども達が、グループの中で、はればれとした表情になっていく姿は中学校の先生方にも見てほしいと思う瞬間です。もっと、中学生の学習支援や不適応対応をしてほしいという要望は保護者だけでなく先生達からもあります。しかし、スペースとメンバーの特徴等からみて、やはり、“ばく”での支援の中心は小学生です。

年度末に行った“保護者へのアンケート調査”では、この1年間の変化として、情緒の安定に関する記述(落ち着いた、出来ない等の否定的なことばが減った)が最も多くあげられました。読み、書き、計算の土台を作る課題、他者に分かりやすく伝える力をつける課題、聞く力をつける課題、論理的に書く力をつける課題等を行ったことが、子ども達の情緒安定につながっていくことを実感します。

一方で、学習支援を続けて行く中で、発達節目(9~10歳)の時期は、伸び悩む子や、登校を渋る子が出てくることもあります。学校や医療機関との“連携の必要性のある時期”のように思います。もちろん保護者の同意や依頼があつてのことですが、医療機関からの意見や方針がよりよい指導につながることを実感しています。しかし、NPOの立場では保護者の依頼があつても、学校側に説明することは出来ません。でも、学校側からの問い合わせがあれば、NPOでの支援の実際についてお伝えすることができます。子ども達の力を発揮させるための連携のありかたについて、皆様のご意見やご助言をお待ちしています。

・平成25年度発表

①日本LD学会 (浜部・今泉) ②臨床発達心理士全国大会 (望月・牧田・渡邊)

・平成26年度は臨床発達心理士実践論文12月号に掲載予定です。

静岡県静岡市駿河区大和2丁目6番5号 東京堂ビル305号

電話・FAX: 054-266-5616 (火～金曜日 15時～19時30分)

振込先: 郵便口座番号 00810-6-134767 発達障害児応援団NPOばく

E-mail: baku@orion.ocn.ne.jp

URL: <http://www1.ocn.ne.jp/~npobaku/index.html>

